

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年11月1日聖日礼拝

使徒の働き連講 66

「パウロ、議会を分断する」

使徒の働き 23章 1節 - 24節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 23章 1節 - 24節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています。

第二版の聖書はp253 ~ / 第三版の聖書はp276 ~

- 1 パウロは議会を見つめて、こう言った。「兄弟たちよ。私は今日まで、全くきよい良心をもって、神の前に生活して来ました。」
- 2 すると大祭司アナニヤは、パウロのそばに立っている者たちに、彼の口を打てと命じた。
- 3 そのとき、パウロはアナニヤに向かってこう言った。「ああ、白く塗った壁。神があなたを打たれる。あなたは、律法に従って私をさばく座に着きながら、律法にそむいて、私を打てと命じるのですか。」
- 4 するとそばに立っている者たちが、「あなたは神の大祭司をののしるのか」と言ったので、

- 5 パウロが言った。「兄弟たち。私は彼が大祭司だとは知らなかった。確かに、『あなたの民の指導者を悪く言ってはいけない』と書いてあります。」
- 6 しかし、パウロは、彼らの一部がサドカイ人で、一部がパリサイ人であるのを見て取って、議会の中でこう叫んだ。「兄弟たち。私はパリサイ人であり、パリサイ人の子です。私は死者の復活という望みのことで、さばきを受けているのです。」
- 7 彼がこう言うと、パリサイ人とサドカイ人との間に意見の衝突が起こり、議会は二つに割れた。

- 8 サドカイ人は、復活はなく、御使いも霊もない
と言い、パリサイ人は、どちらもあると言っ
ていたからである。
- 9 騒ぎがいよいよ大きくなり、パリサイ派のある
律法学者たちが立ち上がって激しく論じて、
「私たちは、この人に何の悪い点も見いださ
ない。もしかしたら、霊か御使いかが、彼に語
りかけたのかもしれない」と言った。
- 10 論争がますます激しくなったので、千人隊
長は、パウロが彼らに引き裂かれてしまうの
ではないかと心配し、兵隊に、下に降りて
行って、パウロを彼らの中から力づくで引き
出し、兵營に連れて来るように命じた。

- 11 その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければならぬ」と言われた。
- 12 夜が明けると、ユダヤ人たちは徒党を組み、パウロを殺してしまうまでは飲み食いしないと誓い合った。
- 13 この陰謀に加わった者は、四十人以上であった。
- 14 彼らは、祭司長たち、長老たちのところに行き、こう言った。「私たちは、パウロを殺すまでは何も食べない、と堅く誓い合いました。」

- 15 そこで、今あなたがたは議会と組んで、パウロのことをもっと詳しく調べるふりをして、彼をあなたがたのところに連れて来るように千人隊長に願い出てください。私たちのほうでは、彼がそこに近づく前に殺す手はずにしています。」
- 16 ところが、パウロの姉妹の子が、この待ち伏せのことを耳にし、兵営に入ってパウロにそれを知らせた。
- 17 そこでパウロは、百人隊長のひとりを呼んで、「この青年を千人隊長のところに連れて行ってください。お伝えすることがありますから」と言った。

- 18 百人隊長は、彼を連れて千人隊長のもとに行き、「囚人のパウロが私を呼んで、この青年があなたにお話しすることがあるので、あなたのところに連れて行くようにと頼みました」と言った。
- 19 千人隊長は彼の手を取り、だれもいない所に連れて行って、「私に伝えたいことというのは何か」と尋ねた。
- 20 すると彼はこう言った。「ユダヤ人たちは、パウロについてもっと詳しく調べようとしているかに見せかけて、あす、議会にパウロを連れて来てくださるよう、あなたにお願いすることを申し合わせました。

- 21 どうか、彼らの願いを聞き入れないでください。四十人以上の者が、パウロを殺すまでは飲み食いしない、と誓い合って、彼を待ち伏せしているのです。今、彼らは手はずを整えて、あなたの承諾を待っています。」
- 22 そこで千人隊長は、「このことを私に知らせたことは、だれにも漏らすな」と命じて、その青年を帰らせた。
- 23 そしてふたりの百人隊長を呼び、「今夜九時、カイザリヤに向けて出発できるように、歩兵二百人、騎兵七十人、槍兵二百人を整えよ」と言いつけた。
- 24 また、パウロを乗せて無事に総督ペリクスのもとに送り届けるように、馬の用意もさせた。

説教

使徒の働き連講 66

「パウロ、議会を分断する」

使徒の働き 23章 1節 - 24節

竿代照夫師



主テキスト

「兄弟たち。私はパリサイ人であり、
パリサイ人の子です。
私は死者の復活という望みのことで
さばきを受けているのです。」

(使徒 23:6)

大祭司とのやり取り(1～5節)

- ・議会で弁明の機会が与えられる
- ・パウロの冒頭証言：
「きよい良心をもって、神の前に生きてきたこと」
- ・大祭司の不当な仕打ち
- ・パウロの反駁
- ・大祭司アナニヤ(47～58)：悪名高い貪欲さ
- ・パウロの反省

2. パウロ証言の波紋(6～10節)

- ・議会の構成員
- ・サドカイ人：
祭司階級で議会の多数派、親ローマ
- ・パリサイ人：
律法学者たち、議会の頑固な少数派
- ・パウロの証言：
パリサイ人としての立場
復活に言及
- ・パリサイ人がパウロを擁護に廻る
- ・サドカイ人は対抗し、議会は紛糾する

3 . 主イエスの励まし(11節)

- ・主イエスの現れ:パウロが危機に立たされた時、いつも・・・
- ・主イエスの力づけ:ローマでの証しを保証

4 . パウロ暗殺の企み (1 2 ~ 1 5 節)

- ・暗殺同盟の結成
- ・同盟の作戦

5 . パウロの甥の進言(16 ~ 24節)

- ・パウロの甥が陰謀を密告
- ・千人隊長の果断な処置
- ・(全体を通して)神の摂理の巧みさ

終わりに

- ・ 摂理の御手を信じよう
- ・ 助けの御手を感じつつ行動しよう